

無煙!
湿潤下地に
施工可能!
無臭!

Vシート

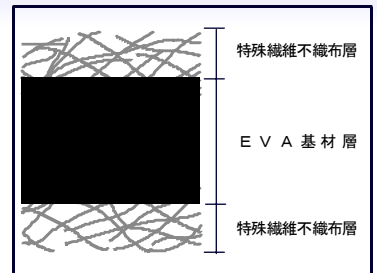
<http://www.kswp.co.jp>

” Vシート ” とは?

Vシートは旭化成株式会社及び日本バイリーン株式会社の指導協力のもとに、当社が弘進ゴム株式会社と共同開発したセメントで貼るEVA湿式植毛防水シートです。

従来の同種防水シートに比べ、品質、性能面での改良を加えると共に、シートの性能と同じく重要な施工技術面での工夫を重ね、セラミテックスコート（水和凝固型塗膜防水材PAT2520239）との提携によりハイレベルな防水技術として確立しています。

これまでに大手ゼネコン各社に於いてはRCの物件をはじめ多数ご採用いただき、3,000件を超える施工実績を持ちながら殆どクレームがありません。



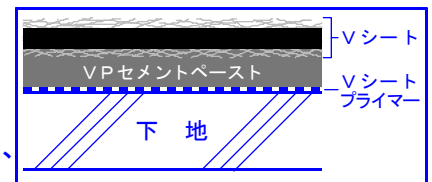
Vシート断面模式図

” セメントで貼る ”

VシートはEVAシートの両面に特殊繊維を植毛した防水シートで、アクリル酸エステル系ポリマーディスパーションを配合した専用のポリマーセメントペースト（VPセメントペースト）を用いて施工する事により、植毛がセメントペーストと絡み合い、セメントの硬化に伴って密着・一体化して強力な防水層を形成します。

このセメントペーストはシートによって養生され、適度な水分を保ちつつ硬化するので、緻密でそれ自体が防水性を発揮します。

その為、万シートに穴があいてもシートと下地の間を水が走ることがないのです。



Vシート防水施工断面模式図

” 2つの防水ファクター ”

Vシート防水はVシートとVPセメントペーストという2つの防水ファクターの複合によって防水性を発現する高性能湿式シート防水工法です。

” 湿潤下地に施工可能 ”

セメントペーストで貼るVシートは下地の乾燥を必要としません。

降雨後（滞留水は要除去）や型枠解体から日の浅い躯体でも施工可能です。

下地の完全乾燥を要求することなく接着し得る数少ないシート防水として、特に材令の若いセメント系下地に対する理想的な工法と言えるでしょう。

” 工期短縮 ”

下地の乾燥を必要としないVシートは、工期短縮に寄与します。

溶剤や油性の材料を使用する工法では下地の完全乾燥を要求する為、降雨後は下地を数日間乾燥させる必要がありますが、Vシートでは不要です。

脱型後も乾燥を待たずに施工可能なので工期を短縮できます。

” 溶剤・火気不要で安全 ”

Vシートは施工の際に溶剤、火気を使用せず現場での施工安全性に優れています。

” 無臭・低騒音 ”

溶剤、火気による臭気の発生がありません。

施工に際しては音も殆ど出ないので近隣に対しても安心です。

” シートにモルタル・コンクリートを直接施工できる ”

両面に特殊繊維を植毛してあるVシートは防水工事後の保護層施工に際し、モルタルやコンクリートを直接施工する事が可能で、トンボやラス網は不要です。

シート末端部分の接着性も充分高く、押さえ金物やコーキングは不要です。(サッシ下等除く)

” 大手ゼネコン各社で採用 ”

これらの特長や、優秀な実績をご理解頂いた多数のユーザーからご支持を頂いているVシート。その多くは大手ゼネコン各社です。また、近年急増している一般住宅の地下室用防水にも多くの有名ハウスメーカーで採用されています。

清水建設(株) 大成建設(株) (株)竹中工務店 鹿島建設(株) 戸田建設(株) 前田建設工業(株) (株)間組
東急建設(株) 飛鳥建設(株) 安藤建設(株) (株)奥村組 西松建設(株) 小田急建設(株) (株)大林組
(株)日本設計 (株)日建設計 (株)山下設計 三井ホーム(株) 三井ハウス 住友林業 旭化成(株)
他多数の皆様にご採用頂き好評を博しています。(順不同敬称略)

” 優秀な施工技術者による責任施工 ”

Vシートは全て当社認定の優秀な施工技術者による責任施工です。

高度な技術力と行き届いた施工管理体制で皆様の要望と信頼にお応えします。

” 用途に合わせた多彩な工法 ”

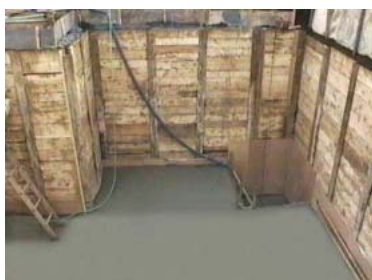
Vシートの優れた特長を充分に発揮できるように標準工法以外にも用途に合わせた多彩な工法を用意しています。(詳細はお問い合わせ下さい)

厨房、浴室等水回りの新装・改装用のKS-A R工法。地下室用として有名ハウスメーカー各社に採用されているKS-B 1工法などがあります。

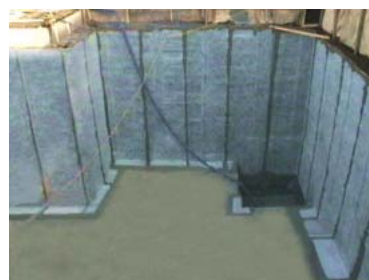
KS-B 1工法は、Vシートの特長を生かしつつ他の材料との複合により、別工事で下地を作成することなく山留め矢板への直接施工を可能とした先やり防水工法です。

下地処理から保護層の施工までを当社が一貫して行うシステム工事で、工期短縮、トータルコストの削減などの他にも、後やり防水にはつきものの余堀りが不要なので限られたスペースを無駄なく使えるという大きなメリットを有しています。

KS-B 1工法



矢板による山留め



Vシート施工後



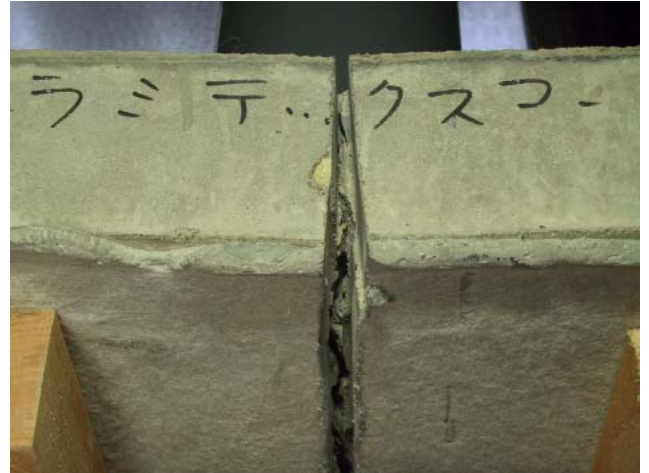
保護層施工後

Vシート クラック耐性試験

コンクリートの平板にVシートを貼り付け、セメントペーストの硬化養生後に水圧印加用のパイプを取り付けてからクラックを生じさせ、パイプ内に注水した。(水位; 150mm)



ジョイント部にセラミテックスコート を塗布
※ポリマーセメントペースト系塗膜防水材料



コンクリート板裏面のクラックの状態



クラック部分の拡大写真

その後約1ヶ月間、150mmの水位を維持しつつ放置したが漏水は認められず、シートを剥がして確認したところ、水の浸入は皆無だった。



約1ヶ月後にシートを剥がした状態